



# ジャイロプレス工法

NETIS登録番号：KT-060020-VE

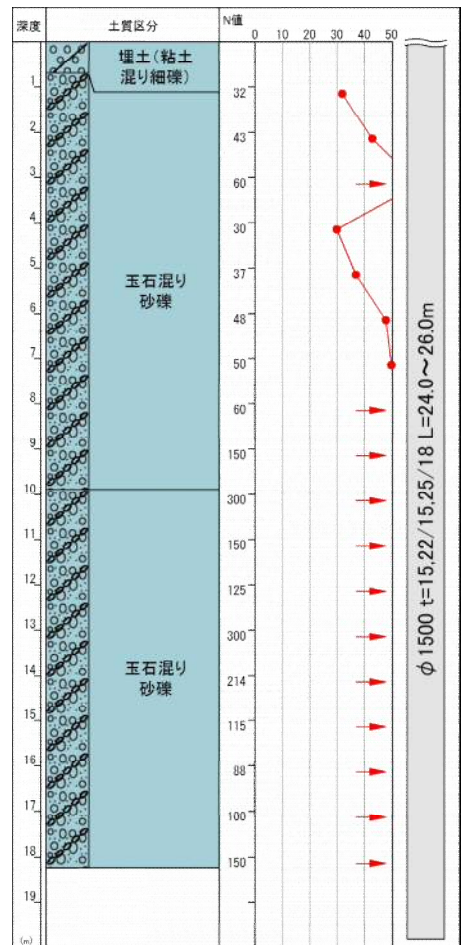


J P N

○ 鋼管杭圧入工法

↳ ノンステーシング工法

NETIS登録番号：KT-000106-V



※50を超える場合は換算N値とする。

工 事 名	首都圏中央連絡自動車道 山際地区のり面対策工事
工 事 目 的	道路擁壁
施 工 場 所	神奈川県 厚木市 山際
発 注 者	中日本高速道路 株式会社
元 請 業 者	株式会社 ナカノフドー建設
施 工 業 者	株式会社 技研施工
施 工 期 間	H23年12月～H24年4月
施 工 機 械	ジャイロクリアパイラー GRAL1520(SP8), クラumpクレーンCB4-1
型 式 ・ 寸 法	φ1500 L=24.0~26.0m (1~2箇所継)
特 長 ・ 効 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型クレーンが設置できない場所でもGRBシステムにより施工可能。(側道はボックスカルバートが埋設されているため上載荷重に制限)</li> <li>近接する地下埋設物への影響を極小化。</li> <li>先端ビット付きの鋼管杭を回転圧入することで、硬質な地盤に施工が可能。</li> <li>高天端約10mでのGRBシステム施工。</li> </ul>

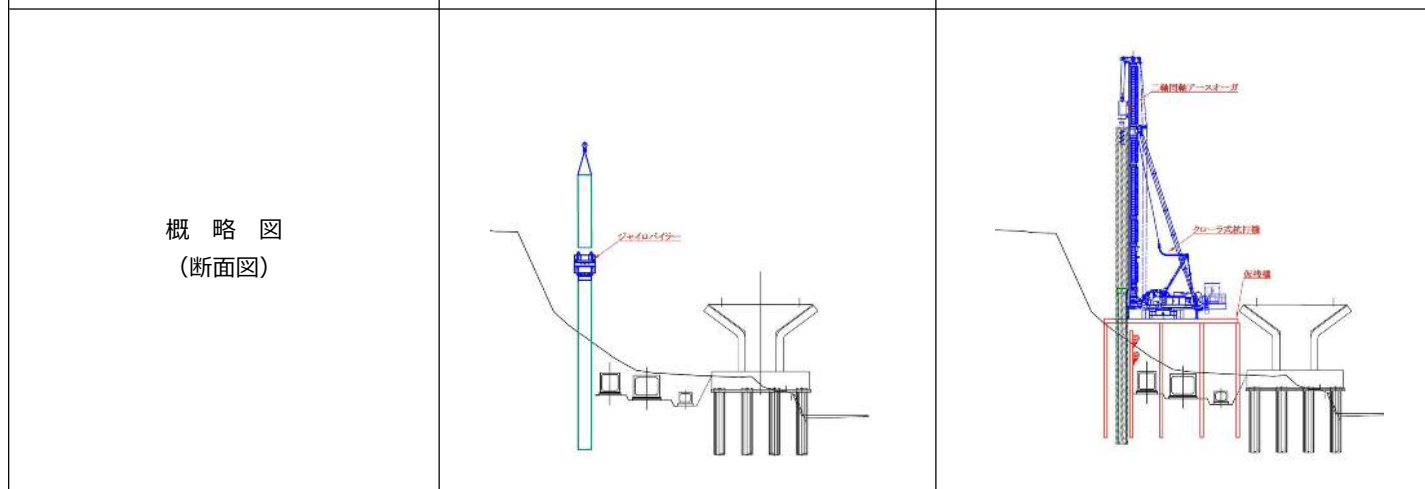


〒135-0063 東京都江東区有明1丁目3番28号  
TEL :03-3528-1690 FAX :03-5530-7061 URL :http://www.gikenseko.co.jp/

© 2013 Giken Seko Co., Ltd. All Rights Reserved.

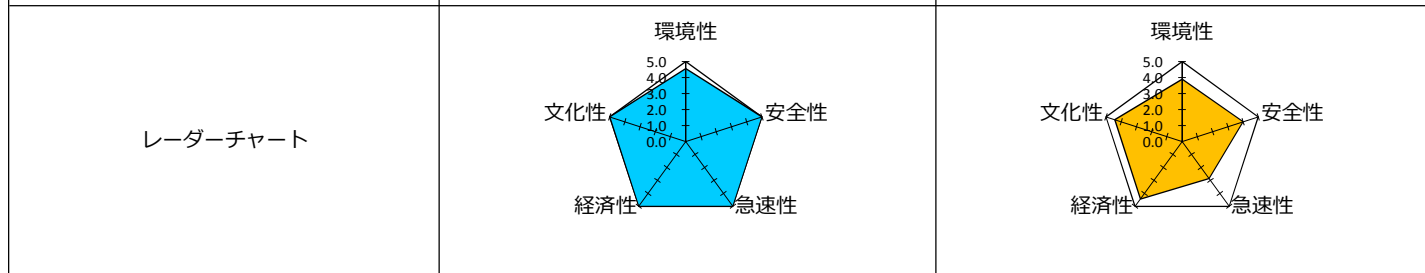
Created by GIKEN "PAS-Maker"

工 法 名	ジャイロプレス工法(システム施工)	二軸式アースオーガプレボーリング埋込杭工
-------	-------------------	----------------------



評価原則	評価項目		詳細評価			詳細評価		
			指標値	評価点	合計点	指標値	評価点	合計点
環境性	地域環境	振動・騒音公害	9,307	2.00	4.6	18,753	0.99	3.9
		大気汚染・粉塵	同等とする	0.50		同等とする	0.50	
		産業廃棄物処理	0	0.50		0	0.50	
	地球環境	地球への接触面積	0	1.00		0	1.00	
		温室効果ガス排出量	196	0.16		63	0.50	
		資源再生利用	普通	0.40		普通	0.40	
安全性	完成構造物の安全性	利用者の安全性	同等とする	1.50	5.0	同等とする	1.50	4.0
		災害時の機能保持	同等とする	1.50		同等とする	1.50	
	建設工事の安全性	施工機械・工法の安全操	同等とする	0.75		同等とする	0.75	
		起こりうる物理的影響	32	1.25		2,827	0.25	
急速性	建設工事期間	現地での総工事期間	88	5.00	5.0	154	2.86	2.9
経済性	建設工事費用	資材費、施工費、運搬費	333,000,000	4.00	5.0	388,133,000	3.43	4.4
	周辺対策費用	地域安全・環境対策など	同等とする	0.50		同等とする	0.50	
	社会的コスト	機能阻害による経済損失	同等とする	0.50		同等とする	0.50	
文化性	機能性と品質	バリアフリー、ユニバーサルデザインなど	同等とする	1.00	5.0	同等とする	1.00	4.4
		施工品質の可視化	同等とする	1.00		同等とする	1.00	
	完成構造物の美しさ	周辺景観との調和性	同等とする	0.75		同等とする	0.75	
		完成物のシンボル性	同等とする	0.75		同等とする	0.75	
	合理化施工(省人・省力化)	システム化	20	0.75		22	0.68	
		機械化、自動化	603	0.75		1,829	0.25	

総合点	24.6	19.6
-----	------	------



評価	◎	△
----	---	---

コメント

ジャイロパイラーを用いた自立式鋼管杭擁壁が次のような種々の制約をクリアできる工法として採用されました。

- ・オーバーハングを有する、掘削が難しい崩落の危険のある斜面
- ・背後の民地に影響のないこと、アンカー工法などにより用地を侵さないこと
- ・施工時に路面下に存在する複数のボックスカルバートに影響を与えない事
- ・ボックスカルバート施工時の仮設土留め工の撤去の必要性

また、同様の工法である、PC壁体を用いた工法との比較でも、経済性や構造の自由度の高さで優位となりました。